

平成29年度

生きる力 ～豊かな心と健やかな体～ の育成

～ハッピー桃太郎プロジェクトより～

宇部市立桃山中学校 PTA

1 学校地域の概要

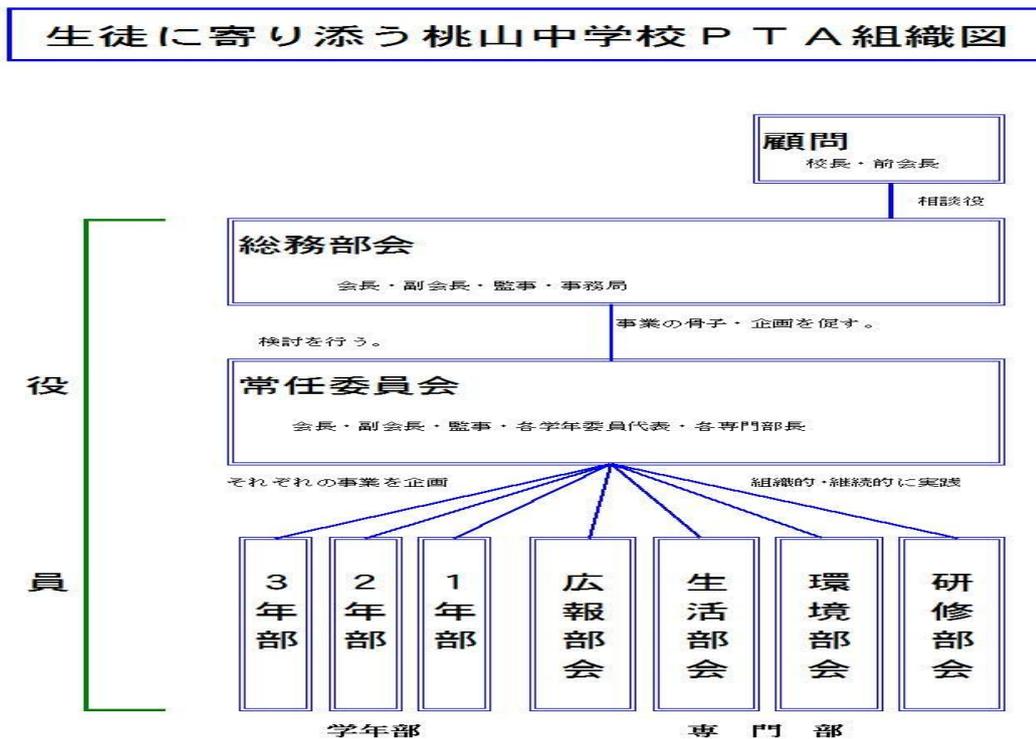
PTA会長 橋本 雄二郎
校長 貞永 貴司
生徒数 330人
会員数 331人（保護者304 教職員27）
所在地 〒755-0067
宇部市大字小串671番地
TEL 0836-21-9141
FAX 0836-21-9142

(1) 校区等の概要

本校は、宇部市中央部に位置し、校舎は桃山台とよばれる高台に建っている。春満開の桜、秋には見事なまでの紅葉に彩られ、豊かな自然環境につつまれた学校である。昭和23年に設立された歴史のある学校であり、敷地内には、全国的にも珍しい野外劇場を思わせるオープンステージや、さまざまな彫刻、中でも群像は本校ならではの風景である。このような恵まれた環境のもと、生徒たちは活発で、誰にでもよくあいさつをすることができる。また、本校設立からの理念で、初代校長熊本隆治先生の掲げた校訓「日新日日新」、「美の創造」、「世界の拡大」を基盤に、「学び合いのある授業」や、いじめ、暴力撲滅をめざす「ハッピーライフ運動」、そして、人々に幸せをもたらす『ハッピー桃太郎運動』を主体的に取り組んでいる。



2 PTA（育友会他）の組織図



本校では、各学級から選出された2名のPTA学級役員が、生活、研修、広報、環境の4部会に分かれ、子どもの健やかな成長を支えるための活動をしている。また、小中一貫教育推進のため、新川小、小羽山小と連携して、「学び」・「絆づくり」・「心みがき」の3部会を立ち上げ、それぞれ学習、あいさつ、掃除の充実・活性化を図る取組も行っている。さらに、すべての生徒をすべての保護者で見守り支えるために、“一人一役運動”により、保護者全員が、年間最低1回以上は学校の行事や活動に参加することになっている。

生活部によるあいさつ運動、研修部による自主学習ノートの点検、広報部によるPR活動、環境部による花壇の整備、そして以上の取組を総括した本校独自の『ハッピー桃太郎運動』により、学校や地域の行事、ボランティア活動に進んで参加する生徒を増やし、桃山中校区に誇りをもつ児童・生徒の育成に取り組んでいるところである。

3 研究テーマについて

本校では、暴力、いじめ0をめざす「ハッピーライフ運動」が生徒の誇りになっており、地域の方々の関心も高い。一方、生徒が地域の行事や活動に積極的に参加し、地域のために役立つ機会が増えてくることについて、学校に大きな期待を寄せている。このような状況において、小中一貫教育、及びコミュニティ・スクールの取組を充実させることは喫緊の課題である。そこで、上記の「絆づくり」部会を中心として、あいさつの活性化を柱に、生徒の人間関係形成能力やコミュニケーション能力の向上をめざす。また、「心みがき」部会を中心として、自問清掃の取組に力を入れ、がまんする心や気づく心、そして美しい環境に感謝す

る心などを育成する取組を推進する。奉仕の心にもとづく以上の取組を総括した本校独自の『ハッピー桃太郎運動』により、校内や地域の行事、ボランティア活動に進んで参加する生徒を増やし、桃山中の誇りをさらに付け加えたいと考えている。

目標

- (1) 他者の幸せや学校、地域でのよりよい生活のために、奉仕の心をもって積極的に活動できる生徒を育成する。
- (2) 地域貢献を積極的に推進し、コミュニティ・スクールの取組を加速させる。
- (3) 桃山中学校の良さを、保護者や地域に積極的にアピールし、母校を誇りにできる生徒を増やす。

平成29年度 P T A 事業計画

月	場 所	事 業 内 容
4月	校長室	第1回総務部会
4月	本校	P T Aメール配信案内および配信開始
4月	校長室	第2回総務部会
4月	宇部市文化会館	現・新（予定者）女性副会長会
4月	勤労青少年会館	宇部市P T A連合会理事会新年度準備会
4月	家庭科室	第1回役員会
4月	体育館	平成28年度P T A総会・授業・清掃参観・部活動懇談会
5月	勤労青少年会館	第1回新旧常任理事会
5月	ANAクラウンプラザホテル	宇部市P T A連合会定例理事会・専門委員会・総会
6月	校長室	P T A総務部会
6月	宇部市	宇部市P T A連合会第2回常任委員会
7月	5ブロック	宇部市P T A連合会専門部役員研修会
8月	校地内	ふれあい奉仕活動（P T A会員及び全教職員による草刈り作業）
9月	グラウンド	運動会
9月	体育館	人権教育講演会
10月	宇部市	宇部市P T A連合会2学期理事会
10月	萩市	宇部市P T A連合会研修大会
10月	宇部市	2学期副会長会
10月	校内	文化祭
1月	図書室	学校保健委員会
1月	宇部市	教育懇談会
2月	宇部市	宇部市P T A連合会第3学期副会長会
2月	宇部市	宇部市P T A連合会第3学期理事会
2月	家庭科室	第2回役員会（今年度の反省）
3月	校長室	平成29年度P T A会計監査

P T A の活動

☆研修部会

家庭学習の充実のための活動をする。

- ・一人一役運動として、月 2 回程度自主学習ノートの点検をする。
- ・一人一役運動として、学期に 1 回程度メディアコントロールについてプチ講演、座談会をする。
- ・メディアコントロールのアンケートを実施し、分析をする。

☆生活部会

- ・定期テスト週間中、各学級生徒といっしょに正門、東門、群像前であいさつ運動をする。
- ・小学校との合同あいさつ運動の実施を検討していく。

☆環境部会

- ・花壇の整備と花の苗植えをする。
- ・桃山中環境ボランティアの実施を検討していく。

☆広報部会

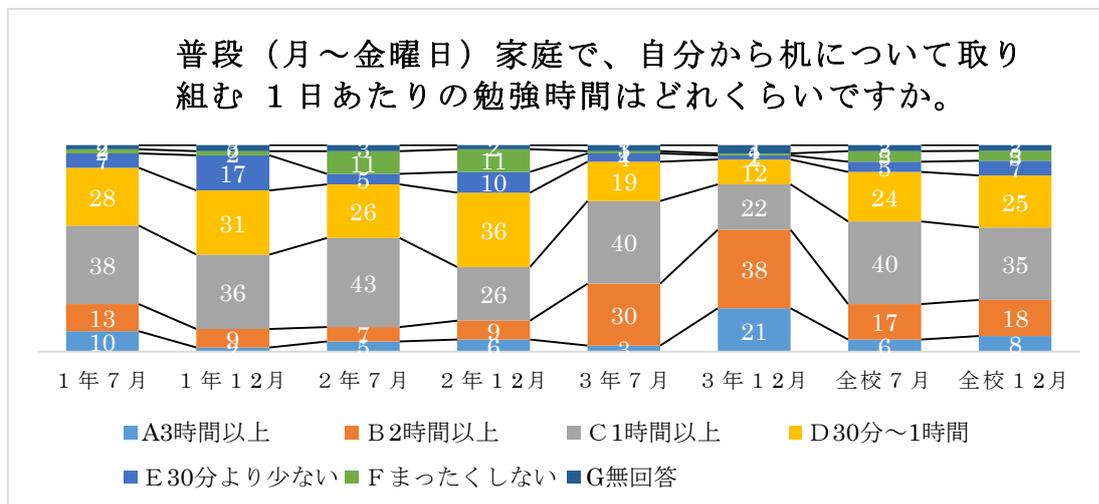
- ・学期に 1 回程度、生徒の活躍の様子等を伝える広報誌を発行する。
- ・メディアコントロールについて啓発活動をする。

◎研修部部会が中心となって行っている自習学習ノートの点検活動、および小学校と連携して行っているノーメディア週間の設定＝メディアコントロールによる家庭学習の充実を図る活動について

- (1) 自習学習ノートの点検活動については、P T A 「一人一役運動」の一環として、毎学期、期末テスト最終日の夕方に来校してもらい、保護者に生徒の自主学習の様子を確認してもらっている。生徒たちの自習学習の多さや質の高さに感動したり、我が子のふがいなさのため息をついたりと様々である。点検後、“励ましコメント”の記載、“ご褒美シール”の貼付により生徒の学習意欲向上を図ろうというものである。
- (2) メディアコントロールについては、中学校の中間テスト・期末テスト週間をノーメディア週間とし、校区の小学生も巻き込んでメディアコントロールを行いながら家庭学習時間を確保し、学習に集中させようとする試みである。これまでのあいさつ運動に新たに学習面を加えた強調週間の設定である。このメディアコントロールに関しては、P T A 「広報部」が中心となってアンケート調査・考察を行い、啓発活動を同時に行っている。これらの取組により、児童・生徒の学力向上の手がかりになってくれることを切に願っている。
- (3) 自主学習ノートの点検活動に参加、参加予定の保護者は述べ 100 名（全保護者の 1 / 3）に達しており、生徒の学習を支援する協力体制が構築されてきた。また、既に参加した保護者からは、「他の生徒の取組や学校の様子がよくわかった」と好評をいただいている。
- (4) 学校評価（対生徒）＝「家庭で、自分から机について取り組む 1 日あたりの勉強時間はどれくらいですか」の項目において、3 年生は、“3 時間以上”が 1 学期末の 3 %から 2 学期末には 2 1 %と激増した。学力向上の鍵は、積極的な授業への取組と継続的な家庭学習の 2 本柱である。自主学習ノートの活用、メディアコントロールにより、すべての生徒が一人ひ

とりに合った家庭学習習慣を身に付けてほしいと願っている。

(5) 広報部会の活動は、これまで学期に1回、学校の様子を知らせる広報誌発行程度であった。しかし、研修部会と連携したメディアコントロールの取組により、家庭学習の推進や健康管理の啓発活動が充実してきている。



4 活動内容

ハッピー桃太郎運動 活動風景



夏まつり 太鼓演奏の練習



夏まつり 提灯設置



夏まつり 会場準備①



夏まつり 会場準備②



夏まつり 当日太鼓演奏



夏まつり会場片付け



校内の美化活動①



校内の美化活動②



校内の美化活動③



宇部市街頭美化清掃



街頭のあいさつ運動



校区文化祭 ステージ演奏



自主学习ノート点検①



自主学习ノート点検②

取組内容

- ・一人一プロジェクトによる提案があり、職員会議で共通理解をした。
- ・生徒総会では、「桃中生として、学校・地域・社会にどのように貢献できるか」という議題について話し合い、「あいさつを積極的にしよう」、「ボランティア活動をしよう」、「地域の人たちがんばっている姿を見せよう」等、積極的な意見が多く出た。
- ・『人々に幸せをもたらす「ハッピー桃太郎」の募集!』について説明し、参加生徒を募った。
- ・志願した生徒を、夏休みに実施される地域の祭りの準備や出演、後片付け、さらに校内美化活動等に割り振り、1学期末から夏休みにかけて諸活動に参加した。
- ・2学期以後も、地域から要請があった際や校内の美化活動が必要な際等、その都度参加者を募り、積極的な活動を展開した。
- ・活動のようすについては、その都度学校ホームページにアップした。
- ・生徒会執行部が、全校生徒に「ハッピー桃太郎マスコットキャラクター」を公募した。207名の応募があり、その中から「ハッピー桃太郎」が誕生した。
- ・生徒会執行部役員がハッピー桃太郎のプロフィールを考え、ホームページに公開した。
- ・美術科の教員が「ハッピー桃太郎」をデジタル画像化し、さらにいくつものバージョンを生み出していった。
- ・①のぼり旗を作成した。のぼり旗は、常時校内各所に展示するとともに、校外活動にも持参し、桃山中を応援する象徴にした。
- ・②ステッカー（シール）を作成した。活動に参加した生徒や来校者等に配布し、親しみをもたれるとともに、活動を周知するのに役立った。
- ・③クリアファイルを作成し、全校生徒や新入生、さらに学校運営協議会委員、新川小・小羽山小教員、来校者等に配付し、運動やキャラクターを周知することになっている。

評価

- ・活動に参加した生徒には、台紙を配り、その都度参加シールを貼付するようにした。台紙の9枠すべてが埋まるほど積極的に参加した生徒もあり、埋まった生徒については、「人々に幸せをもたらせたハッピー桃太郎」として、全校生徒の前で表彰することになっている。
- ・活動への参加記録を蓄積し、通知表や調査書に転記することにした。

① のぼり旗



② ステッカー (シール)



③ クリアファイル



5 成果と課題

成果

- ・生徒が地域の人と接する機会が増え、豊富な体験活動が生み出された。
- ・地域貢献の機会が大幅に増え、コミュニティ・スクールの取組に大きな進展があった。
- ・地域の方々から、「桃山中はよくやってくれる」、「あいさつをよくする」等の好評をいただくことが多くなった。
- ・マスコットキャラクターや関連グッズを制作したことにより、学校の好印象が広まった。
- ・2学期末に行った生徒会役員選挙立会演説会では、多くの立候補者が「ハッピー桃太郎運動を活性化したい」と公約にあげていた。
- ・2学期の学校評価では、「あなたは桃山中に誇りをもっていますか」の質問に対して、83%の生徒がとても誇りまたは誇りであると回答しており、1学期よりも2ポイント伸びている。

課題

- ・この取組により、地域貢献では大幅に進展がみられた。一方で、学校支援の活性化は依然として本校の課題である。そこで、保護者や地域に「ハッピー桃太郎 桃山中応援し隊」を募集し、学習支援や環境整備等での人材バンクを組織したいと考えている。
- ・コミュニティ・スクールの取組を推進していく上で、教職員の参画意識を高めることは重要なポイントになる。この運動についても多くの教職員が係わっていくことで、地域の方々から「桃山中の先生たちはよくやってくれる」という好評が得られ、学校への信頼も高まると思われる。負担感や勤務時間との兼ね合いもあるが、調整をしながら教職員の係わりを増やしていきたいと考えている。

6 関係資料（添付）

- (1) 桃山中学校ホームページ・・・一人一役PTA活動～自主学习ノート点検
- (2) 桃P新聞～アンケート特集号

- トップページ
- 本校の紹介
- 学校経営
- 行事や活動の紹介
- 学校だより
- コミュニティ・スクール
- 小中連携
- 生徒会
- 部活動
- 学校の様子

- 学年のページ
 - 1年生
 - 2年生
 - 3年生

- お知らせ & 配布物
 - 現在はありません

- リンク
 - 宇部市の小・中学校ホームページ
 - 宇部市
 - 宇部市小・中学校事務共同実施協議会

[トップ](#) > [お知らせ](#) > [一人一役PTA活動～自主学習ノート点検](#)

一人一役PTA活動～自主学習ノート点検

10月16日(月) 2学期中間テスト終了後の18時から標記の活動として、各学年から総勢40名以上の保護者の皆様に来校していただきました。

それぞれのノートに励ましのコメントを書いていただいたり、特に優秀なノートにはご褒美シールを貼っていただいたりしました。

少しずつでも、生徒たちの学習意欲が高まってくれることを期待しています。

保護者の皆様、誠にありがとうございました。



[△このページのトップへ](#)

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。盛りだくさんの行事があった2学期も終わり、年が明ければ3年生は卒業、1・2年生は進級に向けての心の準備をしなければなりません。

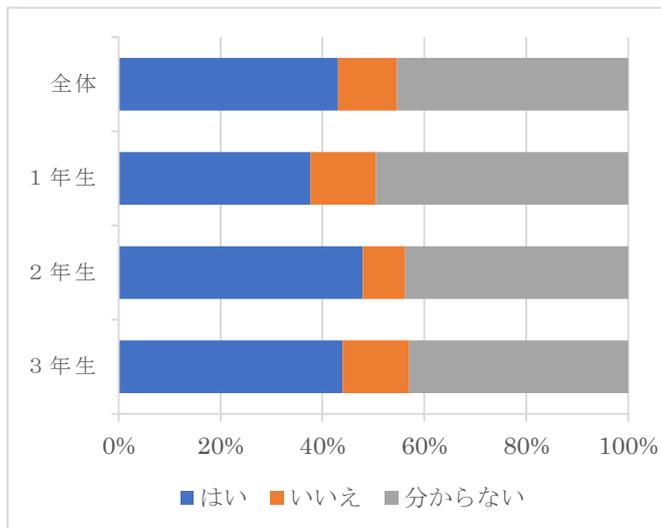
さて、9月下旬に桃山中全家庭を対象としたメディア機器の使用状況調査を行いました。本号では多くの方が気にしているであろう事柄に焦点をあてて質問をピックアップし、集計・分析した結果をお知らせしております。いろいろな問題点が浮き上がるかと予想していたところに想像以上に穏やかな結果が出てきたことと紙面の関係でこのような形とさせていただきました。全てのアンケート結果は桃山中HPに掲載しておりますのでよろしければそちらもご覧になってください。

便利な反面、トラブルも多いスマートフォン等のメディア機器。その使用について、ご家庭で話し合う一助になれば幸いです。

1、スマホの必要性和実際の所持率について

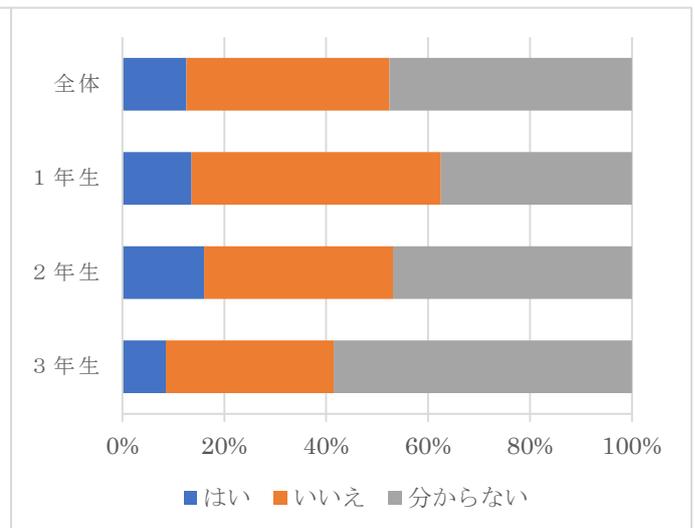
【生徒への質問】

中学生にスマホは必要と思いますか？



【保護者の方への質問】

中学生にスマホは必要と思いますか？

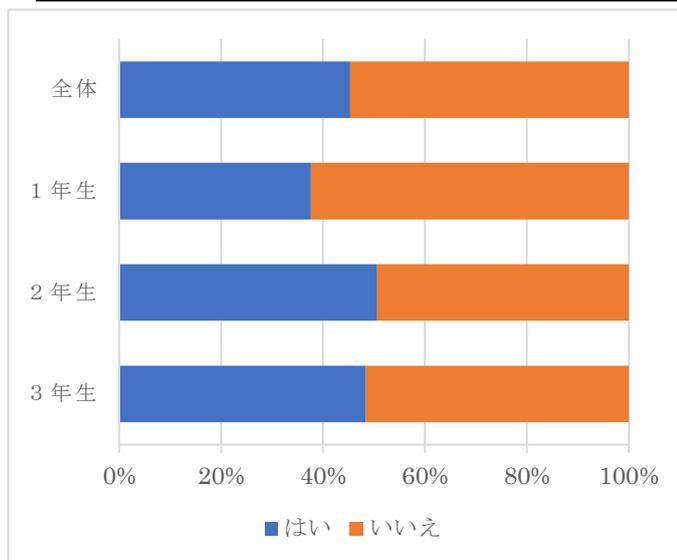


生徒も保護者も、本当にスマホが必要なのかどうかは分からないと考えている方が最も多いようです。一方で、「はい」「いいえ」とはっきり答えた方の割合は生徒と保護者で真逆になっており、温度差が激しいことが分かります。どうしてそう思うのか尋ねたところ、必要ないと答えた保護者の理由として目立ったのは「トラブルが心配だから」「家の電話や親のスマホで十分だから」というもの。逆に必要と答えた理由としては「(家族内での)連絡用」「時代の流れ」などが多く見られ、「部活の連絡に使っている」という理由も何件ありました。

生徒で「はい」と答えた方が多く保護者で「いいえ」と答えた方が多いのは、実際にどう使うのかをイメージできるかどうかの違いでしょうか。保護者の回答を見てみると学年が上がるにつれ「分からない」が増えていて、受験を控えた3年生の保護者で「はい」の割合が一番少なくなっています。これはこんなはずではなかったという気持ちの表れなのかもしれません。

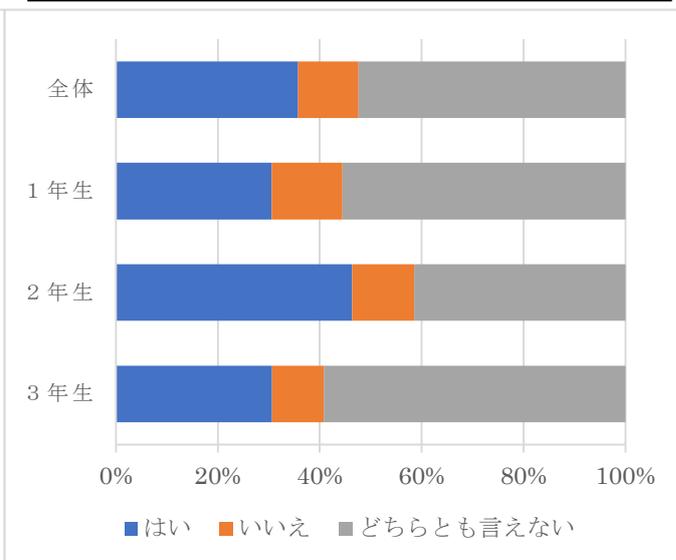
【保護者の方への質問】

現在、お子さんにスマホを持たせていますか？

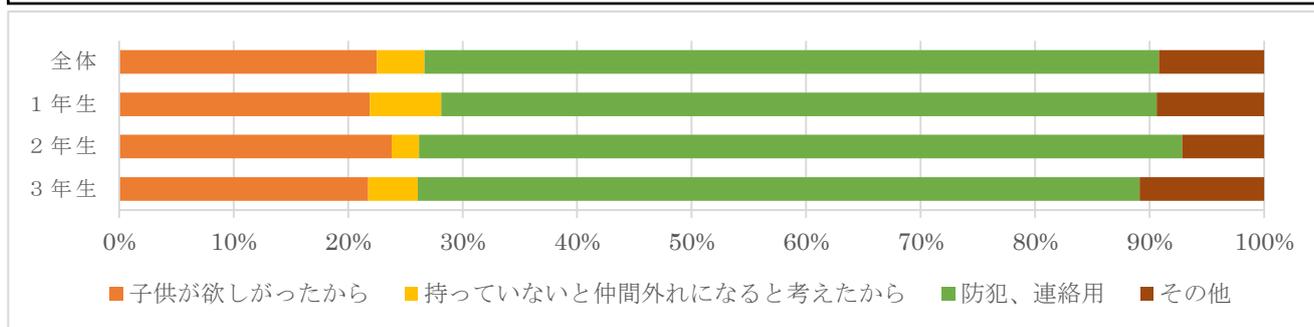


【持たせている保護者の方への質問】

スマホを持たせて良かったと思いますか？



【お子さんにスマホを持たせている保護者の方への質問】持たせたきっかけを教えてください。

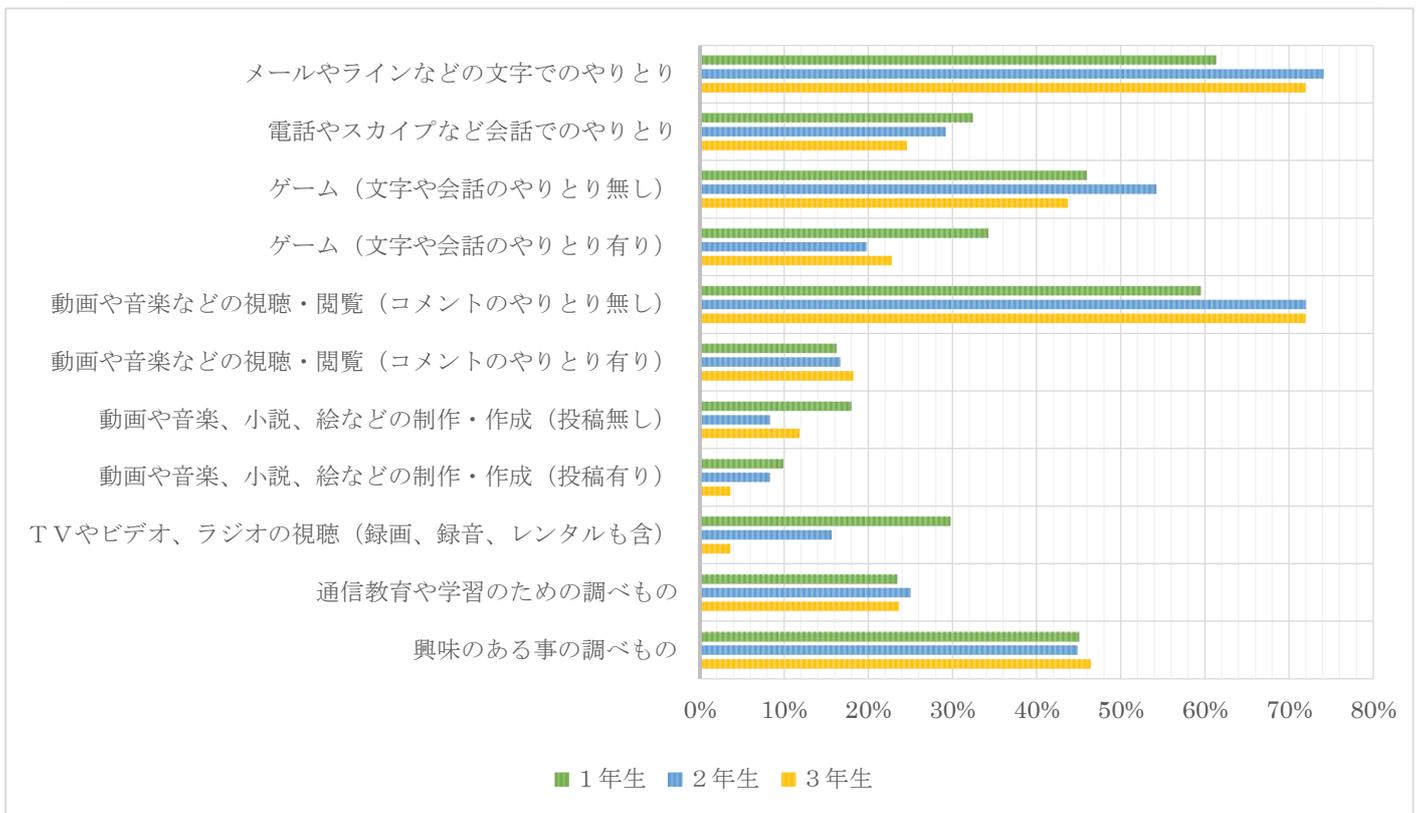


専用のスマホを持たせているご家庭は半分に満たないようです。しかし、実際に使っているお子さんの数は、保護者や家族の所有するスマホを使うケースを含めるとずっと多いのではないかと思います。きっかけは防犯・連絡用であることが半数以上を占めますが、同様に子供たちはそのためだけに使うわけではないことが想像できます。次のページの「メディア機器をどのように使っているか」についてのグラフも参考にしてみてください。

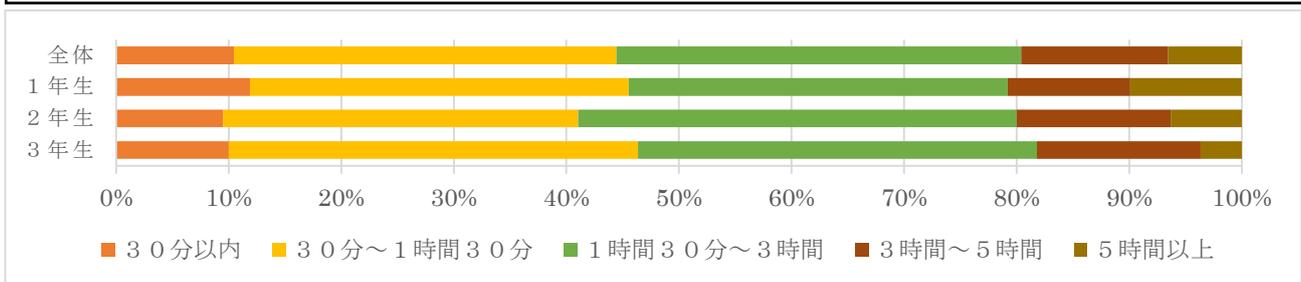
2、メディア機器の使用とトラブルについて

実際に子供たちがスマホを含めたメディア機器をどのように使っているでしょうか。また、どんなトラブルに遭うことがあるのでしょうか。

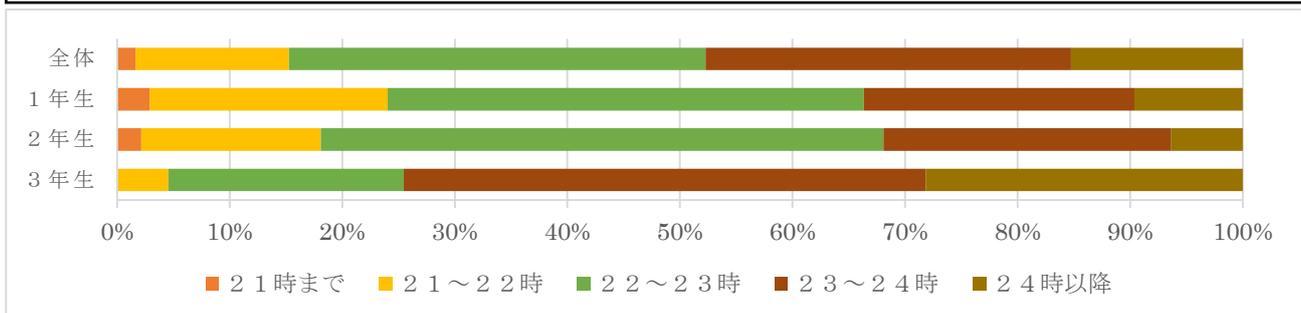
【生徒への質問】メディア機器をどのように使っていますか？



【生徒への質問】平日におけるメディアの使用時間は？



【生徒への質問】平日における就寝時刻は？



単純に考えるとメディアの使用時間が増えれば睡眠時間が短くなる（就寝時間が遅くなる）と言えます

すが、今回のアンケートで気になったのはむしろメディアの使用時間より就寝時刻の遅さです。

睡眠負債という言葉を知ることになりましたが、これは日々の睡眠不足が積み重なる事により心身に悪影響を及ぼすおそれのある状態のことです。この状態では作業効率の低下はもちろんのこと、がん・糖尿病・高血圧・うつ・認知症などの疾病の発病リスクが上がり、太りやすくなるともいわれています。わずかな睡眠不足だとしても長い目で見れば同様の影響があり、中学生には7～8時間の睡眠が望ましいため、たとえ勉強のためであっても深夜0時以降に就寝するのはお勧めできません。

本来であれば起床後4時間経つころが脳が最も活性化し集中力が高くなる時間なので、ここで眠気を感じるのであれば就寝時刻を見直し睡眠をしっかり取るよう心掛ける必要があるかもしれません。

【生徒への質問】メディアを使っている上で、下記のような経験をしたことがありますか？

	1年生	2年生	3年生	全体
金銭や物品を要求された	0	1	0	1
個人情報(写真や銀行口座の番号など)を要求された	1	1	1	3
自分の悪口・悪い噂を聞いた	9	1	3	13
金銭を要求するメッセージに出くわした	0	2	2	4
個人情報(写真や銀行口座の番号など)を要求する画面に出くわした	1	1	1	3
困った経験、怖くなった経験はあるが、上記の中にはない	4	6	8	18
上記のような経験はない	72	72	80	224
回答なし	27	16	17	60

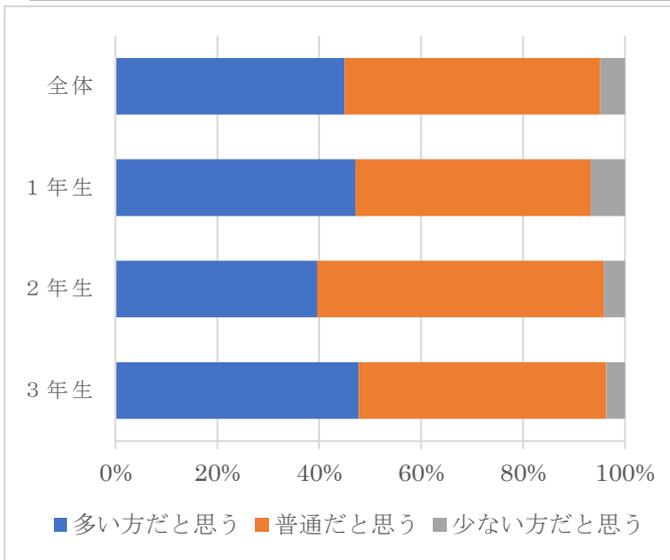
目立つような数ではないのは、学校が行う講習会の成果なのかもしれません。それでも、わずかながらではありますが実際にトラブルに見舞われた経験がある生徒さんがいらっしゃいます。このような場面に遭遇した時には、対処法が分からなければ身近な大人(家族や先生など)に相談しましょう。保護者や先生などに相談するのが難しいようなら様々な相談窓口へ連絡してみましよう。

なお、具体的な被害に遭った場合には、警察やサイバー犯罪相談窓口にご連絡ください。

3、最後に

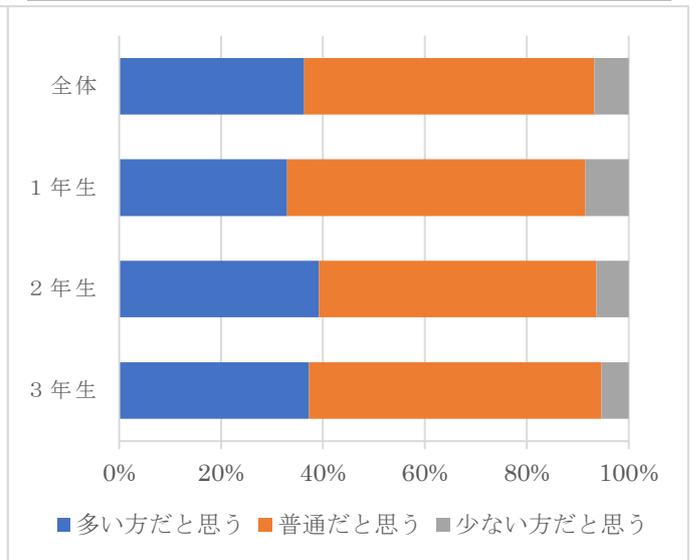
【生徒への質問】

家族との会話や触れ合う機会は？

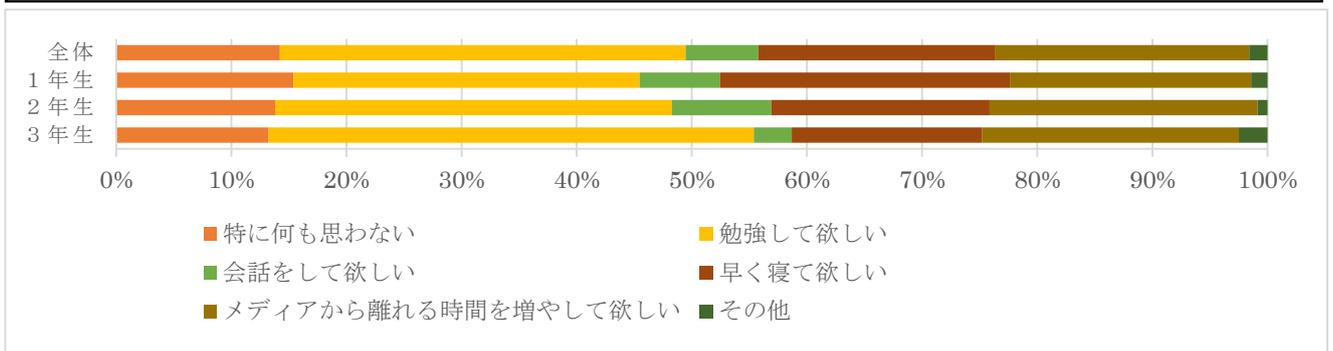


【保護者の方への質問】

お子さんとの会話や触れ合う機会は？

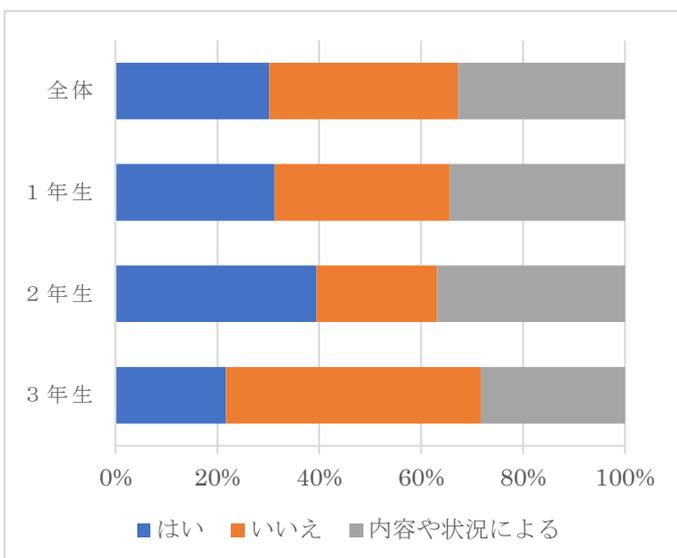


【保護者の方への質問】 お子さんの平日の自由時間の過ごし方についてどう思いますか？



思った以上にいい関係であるご家庭が多いようです。この機会にメディア機器の使用について話し合う時間を持ってもらえればと思います。

【保護者の方への質問】 スマホで何をしているのかチェックしていますか？



桃山中PTAでは、子供たちがスマホで何をしているのかについて保護者がチェックすべきだと思います。保護者には子供に持たせっ放しにしないで使い方を学ばせる責任があり、子供たちは使い方について責任があります。むやみやたらに使い方を取り入れるのではなく、これから先の学生生活や社会人になってからどのように使えばよいのか考えながら使うのが良いでしょう。

スマホの使い方についてどこまでチェックするのは各家庭のお考え次第となりますが、スマホに限らず、インターネットで発信するという事は世界に向けて発信しているという事です。その事を念頭において、今後もメディア機器と良い付き合いをしていきたいものです。